



当院の小児に対するコロナワクチンについて

当院では、日本小児科学会の提言する考え方に基づいて行っていく予定であります。

現時点で、どのように進めていくか不明瞭であります。小児におけるコロナウィルス罹患は重症化しにくいことを考慮するとワクチン接種を早急に行う必要性より接種に付随するリスクを重要視していくべきであり、ワクチン接種を優先すべき環境にある小児には推奨していく姿勢であります。

ワクチン接種すべきか迷うようなことがありましたら日本小児科学会ホームページでご確認ください。

小児コロナワクチンの考え方

https://www.know-vpd.jp/news/5-11mRNA_p.php

日本小児科学会のリンク先

http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=374

日本小児科学会

小児コロナワクチンについてのQ&A

http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=379



先進国が健康な子ども達に接種したり、3回目の接種を計画したりする分のワクチンがあるのなら、人道的見地から発展途上国のハイリスクの人達に回して欲しい

日本国内においても、健康な子どもに接種するワクチンがあるのなら、ハイリスクの人を優先すべきです。



子ども(12~18歳)へのワクチン

健康な子どもであれば、急ぐ必要はありません！
(ワクチンのメリットが圧倒的に大きな高齢者や基礎疾患のある大人達の接種が優先)

まずは子どもに関わる大人達が接種を！
(子どもの感染の大多数は大人からうつっています)

ハイリスクの子どもは、主治医と相談の上で接種を！
(この子たちの重症化を防ぐことは、とっても重要です)

子どもへの接種は、かかりつけ医による個別接種で！
(学校での集団接種は No!! 不安感が解消しにくく、同調圧力を含め、弊害が大きい)

英国JCVI(予防接種合同委員会)からの声明 (続き)

結論

健康な子どもへのワクチン接種は、もっと安全性のデータが蓄積されるまで待っていただいた方がいい

*心筋炎などのデータも、もっと蓄積され解析すべき。

**メリットは直接的にも間接的にも限られている。

柴田小児科

